



障がいのある人の雇用に取り組む

創業元禄二年



聖護院ハッ橋総本店

(京都市左京区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】

和菓子(ハッ橋)の製造・販売

【障がいのある人の主な仕事】

製造ラインでのトレー詰め、箱詰め、機械の調整・掃除など

【障がい者雇用の経緯】

60年位前から雇用しています。「体の不自由な方、障がいを持っていらっしゃる方への優しさを忘れず、また、彼らのおかげで私たちの現在がある」ということを社訓として伝え続けています。20数年前からは、京都市の特別支援学校生の多様な進路確保を目指す「巣立ちのネットワーク」に参加して取り組んでいます。現在13名の障がいのある方が働いています。

【Wさんに聞きました】

13年目です。箱の運搬と蓋閉めをしています。繰り返し教えてもらって、見て覚えめました。蓋をして箱を整えるのが楽しいです。

週5日の立ち仕事で、軽く体を動かして疲れを取るようになっています。社員3人位と昼食の時、話すのが楽しいです。姉と二人暮らしで家事もしています。

【Nさんに聞きました】

12年目です。土産業界が希望でした。そのホテル実習の時、ハッ橋を食べて好きになり、ここの実習を受けました。良い印象ばかりで、すぐに決めました。

ハッ橋をトレーに入れる作業をしています。最初は回転が速すぎて乱れてしまい、やり直すことが多かったです。商品の変化で四季を感じられる職場です。

彼氏がいるので、結婚したいと思っています。

【やさしくもあり、「安全」面ではきびしく】

特別支援学校等から実習などで適性を見極め、社員と同じ部署に従事し、同じ仕事をアットホームな雰囲気の中でしています。障がいのある人の顔色や様子には常に目を配り、声掛けをしています。それ以外、特別なことはなく、変に気を使わない、壁を作らないことが大切と考えています。

ただ、機械を使いますので、「安全」面の指導は厳しくします。日常的な機械の掃除や商品毎の調整も、時間がかかっても繰り返し教えて覚えてもらいます。特に危険なところや難しいところは、担当の社員が行います。

声掛けなどで、周りの社員やパートも、障がいのある人の特性をよく理解しており、スムーズに受け入れています。



令和4年12月取材